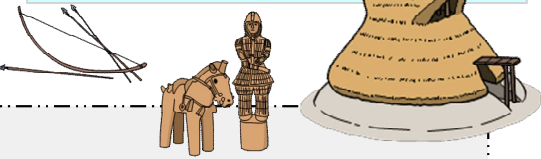




静岡市立西奈南小学校 出前授業レポート



静岡県埋蔵文化財センター
令和5年7月18日(火)



「とても詳しく、かつ時間に合った内容で
的確に教えてくださいました。」

静岡市立西奈南小学校の6年生118人が、歴史について体験したり、話を聞いたりすることを通して学びを深めることを目的に、職業講話、土器の分類、石器の試し切り、火起こしの4つの活動を行いました。

職業講話(発掘調査 と保存処理の話)



埋蔵文化財センターの業務内容を解説するとともに、仕事の大変さや、やりがいなどを話しました。発掘調査は、どんな場所でも掘れるわけではないことと、根気がある緻密な作業であることや、記録を残すことが後生の人々の役になることを伝えました。みんな真剣に聞いていました。

「記録を残す仕事をしてくださっていると知って、貴重な歴史のことを学ぶことが分かった。」



土器の分類体験



縄文時代・弥生時代の学習の振り返りをしました。時代によって土器の特徴の違いを、触ることで実感できました。

「手触り、厚さなど考えながら分類するのがいい学習になった。」



石器の試し切り体験



打製石器、磨製石器、黒曜石などの石の役割を学習し、黒曜石で、野菜などを切ってみました。切れることに驚いていました。

「切れ味がそれぞれ違って、探るのが楽しかった。」
「思っていた以上に、包丁のように切れて驚いた。」



火起こし体験



もみぎり法、弓ぎり法、舞ぎり法などの火起こしの歴史について学びました。舞ぎり法のやり方を確認後、弾み車を回し始めました。コツをつかむと調子よく回せるようになりました。ロングフーフータイムも頑張り、何とか火を起こすことができ、大喜びでした。

「家でも火起こしの装置を作ってみたけど、上手いかなかった。文化財センターの装置はすごいと思った。」



先生方の感想



「社会科の縄文・弥生時代の生活を体験から学ぶことができました。また、総合学習の内容についても、事前にお伝えした内容にも触れてくださり、ねらいを意識してくださいました。ねらいに沿った内容にしてくださり、ありがとうございました。とても詳しく、かつ時間に合った内容で的確に教えてくださいました。また、考えながら土器を分類するなど、考える機会もつくってくださいました。大変暑い中、本当にありがとうございました。」